

2024年2月26日

『スタディサプリ 小学・中学講座』、 「Amazon Fire タブレットシリーズ」での利用が可能に

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が提供するオンライン学習サービス『スタディサプリ』は、小学講座、中学講座において2024年2月26日よりAmazonアプリストアにも提供を開始し「Amazon Fire タブレットシリーズ」での利用が可能となったことをお知らせいたします。



■iOS、Android アプリに加え、Amazon アプリストアにも対応開始

『スタディサプリ 小学・中学講座』は小学生・中学生向けのオンライン学習サービスです。『小学講座』では、基礎から応用、中学受験まで網羅して楽しく学ぶことができ、『中学講座』では新学習指導要領に対応した内容で、授業の予習・復習から高校受験対策まで学ぶことができます。学年や習熟度に合った学習内容を自分のペースで学ぶことができるため、家庭学習の教材として多くの方にご利用いただいています。お手持ちの端末にアプリをインストールすることでご利用が可能となります。

これまでiOSアプリ、Androidアプリを通じて提供してきましたが、このたびAmazonアプリストアにも提供を開始し「Amazon Fire タブレットシリーズ」での利用が可能となりました。GIGA スクール構想により一人1台端末が整っている今、小学生、中学生の家庭学習においてもタブレット端末は欠かせない存在となっています。今回は、ご家庭の中で子ども専用端末として保有するタブレットのうち、約2割を占める(※1)「Amazon Fire タブレットシリーズ」にも対応することで、より多くの方に『スタディサプリ』を家庭学習教材としてご利用いただき、より充実した学びをお届けできればと考えております。

対象機種：Amazon Fire タブレット 第8世代以降 ※10インチ以上の端末のご利用を推奨しております

アプリ URL：<https://www.amazon.co.jp/dp/B0CQJS4TYX/>

Amazon アプリストアより、ダウンロードしてご利用ください。

※現在、小学講座については1年生対象教材・2年生対象教材の一部のみの提供となります。順次他学年の対応も進めて参ります。

本件に関する
お問い合わせ先

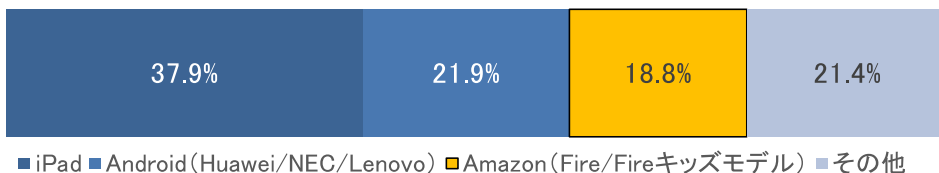
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■Amazon Fire タブレットシリーズ、年少～中学3年生での保有率は約2割。年少～小学2年においては約3割の保有率。

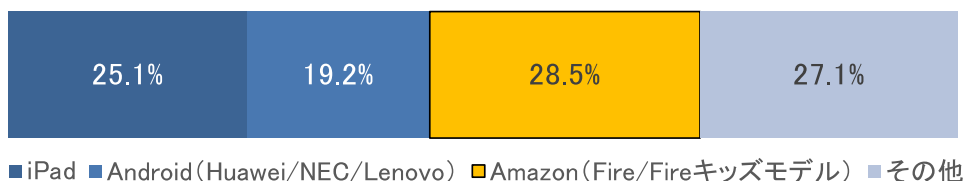
家庭内で子ども専用端末として保有するタブレットについて聞いたところ、Amazon Fire タブレットシリーズは年少～中学3年生のお子さまでは18.8%、年少～小学2年生では28.5%占めている。（※1）

<家庭で保有する子ども専用タブレットの種類>

年少～中学3年生（n=873）



年少～小学2年生（n=291）



【アンケート概要】

調査委託先：株式会社 Lupe

アンケート期間：2023年1月8日～1月11日

アンケート実施方法：インターネット調査

アンケート対象：未就学生・小学生・中学生のお子さまを持つ保護者の方

有効回答数：3,540名

■アマゾンジャパン合同会社 Fire タブレット・Kindle・アクセサリ事業部 部長 丸山 舞 よりコメント

Amazon Fire タブレットシリーズは2012年の発売開始以降、多くのお客さまに愛されています。特に3歳以上を対象とし2019年に発売したFireキッズモデルと、6歳以上を対象とし2023年に発売したFireキッズプロを合わせた、お子さま向けのFireキッズシリーズは2019年の販売当初と比較して、2023年には約3倍の販売台数となりました。Fireキッズシリーズは保護者が安心して見守れること、お子さまに楽しんで使ってもらえることを強化しており、そのようなコンセプトで合致するリクルートさまとは継続して協議させていただいております。今回無事にスタディサプリ小学・中学講座の展開がFireキッズシリーズを含めた、Fireタブレットシリーズ上で開始されたことは大変嬉しく、特に小学生のお子さまがスタディサプリをFireキッズプロでご使用いただくことで、好きなことが学びになり、未来の可能性へつながっていくことに期待しております。小中学生の家庭学習において、Fireタブレットシリーズを活用いただくことで、これからも多くのお子さまにさまざまななかたちでの学びを提供できるよう、リクルートさまと共に努めて参りたいと思っています。

■リクルート プロダクト統括本部 まなび小中高プロダクトマネジメントユニット

小中高B to Cプロダクトマネジメント部 部長 笹部 和幸 よりコメント

『スタディサプリ小学講座・中学講座』は、学年や習熟度に合った学習内容を自分のペースで学ぶことができるため家庭学習として多くの方にご利用いただいています。また、専用タブレットの購入や難しい設定が不要で、ご家庭のタブレットで気軽に使うことができるのも『スタディサプリ』の特徴の一つです。最近ではお子さま専用の端末に複数の学習コンテンツを入れ家庭学習を行うご家庭も多く見られます。今回は多くの Amazon Fire タブレットご利用者さまよりご要望をいただいたこともあり、Amazon アプリストアへの対応開始に至りました。既に Amazon Fire タブレットをお持ちの方は、ぜひお試しください。引き続き、お子さまが自ら学びたいような個別最適化された学習体験を提供していきたいと考えています。

■『スタディサプリ 小学講座』 <https://studysapuri.jp/course/elementary/>

『スタディサプリ 小学講座』では、「子どもが自ら学び、その子に一番合った最高の学習体験が提供される」ことを目指しています。そのため、小学生が迷わずに自ら学習を進めることができるミッション機能、お子さまの習熟度に合った難易度の問題に取り組める自動出題機能、手で書いた文字が自動で判定される手書き回答機能を備えています。ゲーム要素を取り入れたコンテンツ（ゲーミフィケーション）などを中心に、楽しめるだけでなく、効率的にしっかり身に付く学習体験を提供しています。

■『スタディサプリ 中学講座』 <https://studysapuri.jp/course/junior/>

中学生の定期テストから高校受験対策までをカバーする、お子さまの成績アップのためのオンライン学習サービスです。現在の中学生の学習習慣や生活習慣を分析し、“部活や学校の宿題で忙しく、自習学習に割ける時間が少ない”、“集中力が長時間持続しにくい”などの課題に徹底的に対応することを目指しています。そのため演習機能やお子さまの学習状況に個別化されたミッションを配信する機能を中心に、効率的にしっかり身に付く学習体験を提供しています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにいる、出会い。』を提供していきます。詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>